

巻 頭 言

紀要発行にあたって

仙台青葉学院短期大学学長
鈴木 一 樹

このたび本学研究紀要第11巻第2号を発行いたしましたので、皆様方のご高覧に処する次第です。

さて、いま世界では新型コロナウイルスが猛威を振るい、感染者が日を迫うごとに増加し各方面で自粛が求められています。本学でも卒業式および入学式を中止するという極めて異例の対応をとらざるを得なくなりました。この事態がいつまで続くのか不透明な中で経済活動も大幅な制約を余儀なくされ、世界的な大不況が懸念されているところです。

こうした不測の異常事態が起こるたびに思いを馳せるのは研究の重要性です。今回の件でも治療薬・ワクチンの開発が急務となっております。広範かつ深淵な研究活動を行うことが、大学の発展のみならず人類の安全に寄与するということを身をもって知らされる次第です。

紀要は本学教員が研究成果を発表する場であり、今後の研究を更なる発展へと導く重要な役割を担っております。

本紀要では、看護学科、ビジネスキャリア学科、リハビリテーション学科、こども学科、観光ビジネス学科、現代英語学科の教員による「原著論文」、「研究論文」、「研究報告」、「実践報告」、「研究ノート」「資料」、そして仙台医療福祉専門学校の医薬品販売学科の教員による「実践報告」を掲載しております。多忙な教育活動の傍らこのように多数の論文が投稿されましたことは、本学にとって非常に喜ばしいことでもあります。また、多岐に渡ってこうした研究実績が蓄積されていくことが本学の発展に大きく寄与することは疑いの余地がありません。

今後、本学紀要が学術誌としてさらに充実したものとなり、本学の知的財産がより蓄積されていくことを期待し、私からのご挨拶とさせていただきます。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。